



佐竹典明議員

小規模工事登録制度の創設が必要

町長 受発注両者にメリットがあれば検討します

■登録制度の創設を

佐竹 小さな事業所や個人業者にも、直接受注機会を保障する小規模工事等希望者登録制度を創設することは大きな意義があると思えますがいかがですか。

町長 大工、板金、塗装工事などの修繕は受注機会の確保から実施しています。制度創設は受発注両者にとってメリットがあれば検討します。

■雇用創出は

佐竹 地域の雇用や営業を守るため国の補正予算による交付金・補助金があります。町内の雇用創出につながるものがあるか伺います。

町長 当管内の有効求人倍率は0・28倍と低く、特に製造業関係の就労は厳しいです。

雇用創出事業につなげたいと努力していますが、いずれの事業も数名程度です。

■特養施設建設

佐竹 白光園の待機者は100名前後と聞きます。待機者が多いのは、他の介護施設利用料が高額になるからです。

※参酌標準を持ち出さずに特別養護老人ホームの整備ができないか伺います。

町長 新たな施設は、介護保険事業計画や介護ニーズ、保険料などを十分検討し対応します。

また、在宅で入所待ちの人には居宅サービスの効果的サービスを考えています。

■介護職員の処遇改善

佐竹 介護職員処遇改善交付金事業は介護職員の不足解消として、職員一人当たり1万5千円の賃金引き上げを2年半で行う事業です。事業終了後、現在の介護報酬で継続できる事業所があるのか伺います。

町長 継続については事業所ごとの経営努力、考え方で判断されるものです。町としては処遇改善に取り組

んでほしいと考えています。

■スプリングクラーの設置を

佐竹 福祉施設の耐震化などに対応する交付金事業で耐震化、スプリングクラーの設置を急ぐべきと考えますがいかがですか。

町長 耐震化は一部を除きすすんでいます。スプリングクラーの設置は本年4月の消防法改正により、一部未設置の白光園を国の21年度補正予算で事業申請する計画です。



町内の景気上昇に期待

※参酌標準

要介護2以上の認定者数に対し施設サービス利用者数の割合を2014年までに37パーセント以下とする。